



## 第八章

資料 1\_ 総代、年番、統監、社長 & 理事長 名簿

(若倭神社禮大祭) 氏子総代 (赤) 年齢 (数字) 年番 (黒) 年齢 (数字) 春日神社禮大祭/統監、若連社長・理事長

1860 年万延 1 年小杉源八。1864 年元治 1 年川嶋清次郎。1865 年慶応 1 年池田龍之助。1868 年慶応 1 年山下浅七。小栗格太郎。  
 1870 年明治 3 年金田太平。1871 年明治 4 年鈴木勘七。1872 年明治 5 年 2 代高林宇平。1885 年明治 18 年鈴木清一郎。小倉茂。  
 1903 年明治 36 年三上義武

明治	西暦	倭魂社	倭魂社	政諾社	政諾社	笠勢司	笠勢司
13	1880	3 代山下吉十 41	初代加藤儀八 52	4 代島田勘平 33	榎吉太八 28	高林善次郎 33	青島忠平 37
14	1881	3 代山下吉十 42	初代加藤儀八 53	4 代島田勘平 34	榎吉太八 29	高林善次郎 34	青島忠平 38
15	1882	3 代山下吉十 43 松下仙五郎 36 大梢太十	初代加藤儀八 54 門奈茂吉 大橋寛吉	4 代島田勘平 35 石津福松 嶋田嘉平 23	榎吉太八 30 山下安平 池田徳平 33	高林善次郎 35 内山利吉 袴田正太郎	青島忠平 39 鈴木弥十 31 鈴木友次郎
神輿完成 年番各町より 4 名選出 9 月 6 日 7 日 8 日							
16	1883	3 代山下吉十 44	初代加藤儀八 55	4 代島田勘平 36	榎吉太八 31	高林善次郎 36	青島忠平 40
17	1884	3 代山下吉十 45 山下春七 30	2 代加藤儀八 33 火事の為	4 代島田勘平 37 松下長四郎 32 池田嘉平 34	榎吉太八 32 山下善吉 40 金田宗吉	高林善次郎 37 山下才平 高林幸七	青島忠平 41 磯貝清吉 30
18	1885	3 代山下吉十 46	2 代加藤儀八 34	4 代島田勘平 38	榎吉太八 33	高林善次郎 38	青島忠平 42
19	1886	3 代山下吉十 47 川嶋松之助 30 神谷新吉 30	2 代加藤儀八 35 山下春七 32 西村安太郎 31	4 代島田勘平 39 加藤徳次郎 30 島田修吉	榎吉太八 34 若月秋吉 ○内伝兵衛	高林善次郎 39 寺田仁恵茂 30 高林卯平 33	青島忠平 43 青嶋市平 32 磯貝宗十
20	1887	3 代山下吉十 48	2 代加藤儀八 36	4 代島田勘平 40	榎吉太八 35	高林善次郎 40	青島忠平 44
21	1888	3 代山下吉十 49	2 代加藤儀八 37	4 代島田勘平 41	榎吉太八 36	高林善次郎 41	青島忠平 45
22	1889	3 代山下吉十 50	2 代加藤儀八 38	4 代島田勘平 42	榎吉太八 37	高林善次郎 42	青島忠平 46
23	1890	3 代山下吉十 51 藤田光太郎 松下佐平	2 代加藤儀八 39 池田友次郎 31 小栗兼吉	4 代島田勘平 43 池田梅吉 藤井和十 36	榎吉太八 38 山下伊太郎 山下兼吉	高林善次郎 43 森下佐十 鈴木勘七 19	青島忠平 47 鈴木幸作 32 寺田友次郎 32
24	1891	3 代山下吉十 52 松下仙助 33 市川秀太郎 36	2 代加藤儀八 40 池田友次郎 32 小栗兼吉	4 代島田勘平 44 中和儀平 山下藤吉 26	榎吉太八 39 山下伊太郎 山下兼吉	高林善次郎 44 鈴木米吉 松下峯吉	青島忠平 48 鈴木幸作 33 寺田友次郎 33

25	1892 倭魂社	3代山下吉十 53 松下仙助 34 市川秀太郎 37	加藤直次郎 43	4代島田勘平 45 山下藤吉 27 休斎為吉	榎吉太八 40 山田源八 竹原弥吉	高林善次郎 45 鈴木峯太 松下峯吉	青島忠平 49 山本虎吉 島田徳太郎
26	1893 政諾社	3代山下吉十 54 田口長三郎 32 松島新吉	加藤直次郎 44 笠井百太郎 久米儀一郎 32	4代島田勘平 46 伊藤勲平 長谷川信太郎	島田嘉平 34 杉山文七 竹原清太郎 31	高林善次郎 46 加藤清七 31 鈴木年平	青島忠平 50 山本虎吉 島田徳太郎
27	1894 笠勢司	3代山下吉十 55	2代加藤儀八 43	4代島田勘平 47	島田嘉平 35	寺田源次郎 64	加藤清平 61
28	1895 倭魂社	3代山下吉十 56 川嶋清次郎 31 島田作次郎	2代加藤儀八 44 池田幸太郎 中安浪太郎	4代島田勘平 48 永井作次郎 池田龍之助 30	島田嘉平 36 山下金平	寺田源次郎 65 竹内權平 高林茂作	加藤清平 62 岡本藤吉 磯貝宇平
29	1896 政諾社	2代山下重平 42 川嶋清次郎 32 島田作次郎	山下清七 55 池田幸太郎 中安浪太郎	榎吉太八 44 川合久吉 池田龍之助 3 1	島田嘉平 37 市川仁三郎 山下金平	寺田源次郎 66 鈴木峯太 石神梅吉	神谷久吉 27 岡本藤吉 磯貝宇平
29	若倭神社総代 9月8日 氏子惣代(株) 笠井吟行金八百円借用証書 氏子惣代は上記の通り。山下清七 55歳、神谷久吉 27歳が就任。						
30	1897	2代山下重平 43 加藤幸八 小杉桂蔵	山下清七 56 野末庄吉 川島兼吉	榎吉太八 45 山下藤吉 3 2 川合久吉	島田嘉平 38 川出桂治郎 市川仁太郎	高林卯平 44 鈴木峯太 石神梅吉	神谷久吉 28 小栗格太郎 29 寺田吉平
31	1898 倭魂社	2代山下重平 44 名倉嘉蔵 大場信太郎	山下清七 57 野末庄吉 川島峯吉	榎吉太八 46 山下峯吉 川出桂治	島田嘉平 39 山田佐七 間淵由太郎	高林卯平 45 高林又蔵 加藤次作	寺田友次郎 40 小栗格太郎 30 寺田吉平
32	1899 政諾社	2代山下重平 45 名倉嘉蔵 大場信太郎	山下清七 58 神谷良八 須部弥三郎	榎吉太八 47 坂田万作 柴田金治郎	島田嘉平 40 山田佐七 加藤虎太郎	高林卯平 46 加藤次作 高林又蔵	寺田友次郎 41 神谷文吉 鈴木与平
33	1900 笠勢司	2代山下重平 46	山下清七 59	榎吉太八 48	島田嘉平 41	高林卯平 47	寺田友次郎 42
34	1901 倭魂社	2代山下重平 47	山下清七 60	榎吉太八 49	島田嘉平 42	高林卯平 48	寺田友次郎 43

35	1902 政諾社	2代山下重平 48	山下清七 61	榎吉太八 50	島田嘉平 43	高林卯平 49	寺田友次郎 44
36	1903 笠勢司	2代山下重平 49	山下清七 62	榎吉太八 51	島田嘉平 44	高林卯平 50	寺田友次郎 45
37	1904 倭魂社	2代山下重平 50	山下清七 63	榎吉太八 52	島田嘉平 45	高林卯平 51	寺田友次郎 46
38	1905 政諾社	2代山下重平 51	山下浅七 37	榎吉太八 53	島田嘉平 46	高林卯平 52	神谷久吉 36
39	1906 笠勢司	2代山下重平 52	山下浅七 38	榎吉太八 54	島田嘉平 47	高林卯平 53	神谷久吉 37
40	1907 倭魂社	2代山下重平 53	山下浅七 39	榎吉太八 55	島田嘉平 48	高林卯平 54	神谷久吉 38
41	1908 政諾社	2代山下重平 54	山下浅七 40	榎吉太八 56	島田嘉平 49	高林卯平 55	神谷久吉 39
42	1909 笠勢司	2代山下重平 55	山下浅七 41	榎吉太八 57	島田嘉平 50	高林卯平 56	神谷久吉 40
43	1910 倭魂社	2代山下重平 56	山下浅七 42	榎吉太八 58	島田嘉平 51	高林卯平 57	神谷久吉 41
44	1911 政諾社	2代山下重平 58	山下浅七 43	榎吉太八 59	島田嘉平 52	高林卯平 58	神谷久吉 42
45	1912 笠勢司	2代山下重平 59	山下浅七 44	榎吉太八 60	島田嘉平 53	高林卯平 59	神谷久吉 43
大正 2	1913 倭魂社	2代山下重平 60	山下浅七 45	松下長四郎 61	島田嘉平 54	高林卯平 60	神谷久吉 44
大正 3	1914 政諾社	2代山下重平 61	山下浅七 46	松下長四郎 62	島田嘉平 55	高林卯平 61	神谷久吉 45
大正 4	1915 笠勢司	2代山下重平 62	山下浅七 47	松下長四郎 63	島田嘉平 56	高林卯平 62	神谷久吉 46
大正 4	精華團の記録始まる。 西町青年は（精華團）と名乗る						

大正 5	1916 倭魂社	2代山下重平 63	山下浅七 48	松下長四郎 64	小杉源八 56	高林卯平 63	小栗格太郎 48
大正 6	1917 政諾社	2代山下重平 64	山下浅七 49	松下長四郎 65	小杉源八 57	高林卯平 64	小栗格太郎 49
大正 6	倭魂社の分家として、精華團が独立を承認された						
大正 7	1918 笠勢司	川嶋清次郎 54	山下浅七 50	池田龍之助 53	小杉源八 58	金田太平 48	鈴木勘七 47
大正 8	1919 倭魂社	川嶋清次郎 55	山下浅七 51	池田龍之助 54	小杉源八 59	金田太平 49	鈴木勘七 48
大正 9	1920 政諾社	川嶋清次郎 56	山下浅七 52	池田龍之助 55	小杉源八 60	金田太平 50	鈴木勘七 49
大正 10	1921 笠勢司	川嶋清次郎 57	山下浅七 53	池田龍之助 56	小杉源八 61	金田太平 51	鈴木勘七 50
大正 11	1922	川嶋清次郎 58	山下浅七 54	池田龍之助 57	小杉源八 62	金田太平 52	鈴木勘七 51
大正 12	1923 倭魂社	川嶋清次郎 59	山下浅七 55	池田龍之助 58	小杉源八 63	金田太平 53	鈴木勘七 52
大正 12	倭魂社 屋台購入した。						
大正 13	1924 政諾社	川嶋清次郎 60	山下浅七 56	池田龍之助 59	小杉源八 64	金田太 54	鈴木勘七 53
大正 14	1925 笠勢司	川嶋清次郎 61	山下浅七 57	池田龍之助 60	小杉源八 65	金田太平 55	鈴木勘七 54
大正 15 昭和 1	1926 倭魂社	川嶋清次郎 62	三上義武 53	池田龍之助 61	3代鈴木清一郎 41	小栗格太郎 58	2代高林宇平 54
大正 15 昭和 1	政諾社は屋台を建造。古木五郎三郎。小杉源一、山田源七、島田喜一郎、堀内春吉、松下藤吉、大野儀十、秋山兵十、太田武志 大正 15年 笠勢司 屋台建造 大正 15年から氏子総代を精華團から1名選出となった。						
昭和 2	1927 政諾社	川嶋清次郎 63	三上義武 54	池田龍之助 62	3代鈴木清一郎 42	小栗格太郎 59	2代高林宇平 55
	神勢團は独立した						

昭和 3	1928 笠勢司	川嶋清次郎 64	三上義武 55	池田龍之助 63	3代鈴木清一郎 43	小栗格太郎 60	2代高林宇平 56	
昭和 4	1929 倭魂社	小倉茂 44	三上義武 56	池田龍之助 64	3代鈴木清一郎 44	小栗格太郎 61	2代高林宇平 57	
昭和 5	1930 政諾社	小倉茂 45	三上義武 57	池田龍之助 65	3代鈴木清一郎 45	小栗格太郎 62	2代高林宇平 58	
昭和 6	1931 笠勢司	小倉茂 46	三上義武 58	池田龍之助 66	3代鈴木清一郎 46	小栗格太郎 63	2代高林宇平 59	
昭和 7	1932 倭魂社	小倉茂 47	三上義武 59	池田龍之助 67	3代鈴木清一郎 47	小栗格太郎 64	2代高林宇平 60	
昭和 8	1933 政諾社	小倉茂 48	三上義武 60	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 48	小栗格太郎 65	竹山仁太郎	
		精華団の住吉町は、西町の通りを北へ拡張して道路を広げた						
昭和 9	1934 笠勢司	小倉茂 49	三上義武 61	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 49	小栗格太郎 66	竹山仁太郎	
		昭和 9 年 蛇籠 大鳥居 6 m 建立 以後 昭和 32 年まで建立した						
昭和 10	1935 政諾社	小倉茂 50	三上義武 62	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 50	小栗格太郎 67	竹山仁太郎	
昭和 11	1936 笠勢司	小倉茂 51	三上義武 63	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 51	小栗格太郎 68	竹山仁太郎	
		昭和 11 年 精華団の記録終了						
昭和 12	1937 倭魂社	小倉茂 52	三上義武 64	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 52	芦原清八	高橋多賀蔵	
		昭和 12 年 倭魂社は屋台新築した。						
昭和 12 若連	政諾社	統監・小栗春夫 社長・榎吉竹治 28 歳、副・池田幸一、秋山誠治、山下正司、伊藤良平、袴田清十、瀧口猛。島田喜一、山下貞雄、鈴木桂						

	笠勢司 神勢團 精華團 倭魂社	統監・高林賢次郎 社長・寺田浅吉、副・山田吾一、加藤恒七、池田敏雄、鈴木三郎、竹内常次、袴田廣治、藤井長市、鈴木一男 統監・高井喜代治 社長・加藤一郎、副・高井虎雄、藤原時、中村吉平、神谷茂三郎、鈴木傳次郎、森島繁雄、鈴木民雄、中津川勇 統監・田邊力蔵 社長・高柳繁治、副・太田繁数、伊藤金平、池田幸雄、大石幸一、川島安太郎、清水勇次郎。村田良一、鈴木光治 統監・初瀬栄一郎 社長・前川春雄、副・松島武男、高柳芳雄、森島一男、犬塚一男、鳥羽山義雄、古木貞雄					
昭和 13	1938 政諾社	小倉茂 53	三上義武 65	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 53	芦原清八	高橋多賀蔵
国家総動員法公布。神輿のみ、屋台行動中止。							
昭和 14	1939 笠勢司	小倉茂 54	三上義武 66	古木貞太郎	3代鈴木清一郎 54	芦原清八	高橋多賀蔵
昭和 14 若連	倭魂社 精華團 神勢團 笠勢司 政諾社	統監・高柳芳男 社長・鳥羽山義雄、山下正男、犬塚一男、夏目重雄、島田徳治、山田精治、古木貞雄、五味鉄彦、西村章 統監・池田幸祐 社長・川島安太郎、鈴木光次、村田良一、渥美敬三、渡辺嘉一郎、高林初太郎、鈴木清一、鈴木恒雄 統監・高井喜代治 社長・高井虎雄、森島繁雄、藤原時、鈴木良雄、中津川勇、鈴木傳次郎、森傳十郎、神谷茂三郎、中村吉平 統監・鈴木三郎 社長・竹内常次、加藤恒七、鈴木實、鈴木一男、池田敏雄、高林佐七、名倉益見、神谷忠雄、袴田猪太郎、刑部政夫 統監・池田幸一 社長・島田喜一、影山國一、伊藤良平、山下正司、西岡正平、鈴木弥之助、吉田政太郎、菅沼通吉					
昭和 15	1940 倭魂社						
昭和 15 若連	倭魂社 精華團 神勢團	統監・山下正男 社長・夏目重雄 28、山田精治、古木貞雄、五味鉄彦 26 歳、小野菊雄、杉田亀若、河村景一、鳥羽山行夫、金田久、桑原保夫 統監・池田幸祐 社長・鈴木光次、鈴木常吉、渡辺嘉一郎、高林初太郎、鈴木清一、渥美桂三、大城元弥、高橋京一、岡原弥市 統監・高井虎雄					

	笠勢司 政諾社	社長・森島繁雄、藤原時、中津川勇、鈴木傳次郎、森源十郎、神谷茂三郎、鈴木武治、大石政治 統監・鈴木一男 社長・池田敏雄、高林佐七、刑部政夫、池川勇、渥美京一、神谷忠夫、名倉益見、河合清、袴田猪太郎 統監・島田喜一 社長・影山國一 27、袴田精十、高林政雄、菅沼通吾、鈴木弥之助、伊藤良平、山下正司、吉田政太郎					
昭和 16	1941 政諾社						
		屋台行動中止。青年は神輿の渡御に参加した。笠井小の正門から東への道路ができた。					
昭和 17	1924 笠勢司						
昭和 17 若連	倭魂社 精華團 神勢團 笠勢司 政諾社	統監・河村景一 社長・鳥羽山行夫、松下幸夫 28、金田久、吉田喜太郎、館重夫、長尾久一、犬塚泰二、小野菊雄 統監・鈴木常治 社長・大城安太郎、渡辺嘉一郎、高橋京一、渥美桂三、鈴木清一、福代喜代次、小栗新次、大城文弥、中安実 統監・鈴木傳次郎 社長・森傳十郎、神谷茂三郎、鈴木武治、大石政治、山下待雄、島田敏治、金田卯一、加藤為三郎、鈴木泰介 統監・高林佐七 社長・袴田猪太郎、刑部政夫、神谷忠夫、名倉益見、河合清、鈴木治郎、松本久太郎、高井賢吉 統監・影山國一 29 社長・袴田清十 28、伊藤良平、秋山誠治、白瀬庄平、小藪正三、久米新平、松島博、大木績、鈴木恒雄					
		置き屋台。日章旗と海軍旗を神輿の輿脇に立てて行動する。					
昭和 18	1934 倭魂社						
昭和 18 若連	倭魂社 精華團 神勢團	統監・鳥羽山行夫 社長・松下幸夫 29、金田久、小野力雄、長尾久一、村松誠一郎 統監・高橋京一 社長・渡辺嘉一郎、渥美桂三、大城元弥、中安実、照井与太郎、福代喜代次、鈴木五郎 統監・森傳十郎 社長・鈴木武治、大石政治、島田敏治、加藤為三郎、鈴木浅雄、奥島繁雄					

	笠勢司 政諾社	統監・袴田猪太郎 社長・神谷忠夫、名倉益見、寺田隆二、河合清、長谷川保、鈴木治郎、高井賢吉、吉田昇八、三浦政一 統監・小藪正三 社長・伊藤良平、秋山誠治、白瀬庄平、吉田政太郎、鈴木常夫、川合繁、戸塚定頼、高林駒吉（22歳）				
昭和 19	1949 政諾社					
		12月9日東南海地震 樽御輿で祭り行う。 12月23日 浜松空襲壊滅。				
昭和 20	1945 笠勢司					
		3月10日 東京大空襲。8月6日 広島原爆投下。 8月14日 長崎 原爆投下 8月15日 終戦 祭典中止 大木清作笠井町町長 静銀西の道路延焼防ぐため新道できた。				
昭和 21	1946 倭魂社					
昭和 21 若連	政諾社  笠勢司  神勢團  倭魂社  精華團	統監・山本正郎 社長・中村甲治、副・佐藤吉雄、中谷豊吉、高林駒吉 25、石牧義治、秋山恭一、島田圭司 23、袴田良雄、池田益雄、山下修一 24 統監・岡本武雄 社長・高井賢吾、副・磯貝光司、寺田邦治、山下清一、神谷慶二、吉田利夫、大井武、鈴木幸博、高井安雄 統監・野末要三 社長・奥島繁雄、副・鈴木浅雄、高井安正、島田五郎、原栄一、杉本武夫、小田謙三、寺田新一、川口博、竹内佐平、山口弥平 統監・渥美桂三 社長・吉田辰雄、副・小木実、福代喜代次、葛谷照彦、袴田清市、松本昴、小窪重明、坂田良忠、大村要三、大軒竜雄、大村増夫、大澤鶴吉 統監・高林貞雄 社長・森下昌一、副・石神長夫、山下重男、笠原源一、宇田彦太郎、池田譲 25、大塚泰三				
昭和 22	1947 政諾社					
		学校六・三制 義務教育 パン 12 円、牛乳 15 円、床屋子供 10 円、おこづかい 1 円、5 円、10 円、酒 1 升 425 円				

昭和 23	1948 笠勢司						
		政諾社社長・中谷豊吉（屋台に青崖の絵画飾る） 11月大下弘野球教室。 にこにこ会、中央会、だるま会					
昭和 24	1949 倭魂社						
昭和 24		政諾社 社長・高林駒吉 27。 神輿の供は1家1人参加。露天商が伊藤下駄屋～郵便局まで道路に出た。 にこにこ会 池田譲さん 28 は当番で、サーカスを1月2日から10日まで福来寺に呼んだ					
昭和 25	1950 政諾社						
昭和 25 若連		統監 政諾社・高林駒吉、笠勢司・鈴木幸博、倭魂社・小田一、精華團・吉田友八、神勢團・池田幸太郎 政諾社社長・笠原七郎（岩本義男、三室正雄、池田益男）					
昭和 26	1951 笠勢司			池田竜之助 63		竹山栄司	
昭和 27	1952 倭魂社		小倉茂 67	池田竜之助 64		竹山栄司	
昭和 27 若連	政諾社  笠勢司  神勢團  精華團  倭魂社	統監・小杉茂 社長・神谷惣一、副・大場広夫、袴田賢三、石野芳夫、松島重男、石牧満壽江、梅田勝、進藤丈二、石野隆、久島實、 中谷卓、池田米治、田辺保一、河合保二、藤森保明、礼次郎。 顧問島田圭司、山田菊治 統監・川合角次 社長・加藤徹吉、副・竹内達、石神康弘、高橋朝男、大井清、秋山昇、磯貝照茂、高木進、鈴木邦夫、中安保、山下久、 石神陸平、大西実 統監・岡本光太郎 社長・竹山雅三雄、副・森彦十郎、鈴木庄吉、鈴木留三郎、伊藤繁雄、山下源一郎、大石春雄、坂田敏雄、石津静雄、 鈴木喜代治、森安治、竹内勘次、鈴木勉、鈴木淳、斎藤忠司、足立慶一、柴谷朝光、鈴木与士夫 統監・大村要三 社長・大軒龍雄、副・松本、袴田精一、福代勉、太箸清、坂田良忠、大村増夫、永田徳次、小沢逸郎、山下良道、 松島眞次、田中忠二、川合清、国本秀治、宮本全次、中村照夫、清水行雄、鈴木一雄、鈴木孝博 統監・松谷正十三					

		社長・安川喜代次、副・小倉光男、松島教一郎、高林眞澄、中谷次夫、鈴木春安、小池忠光、渡辺寅市、秋山金吾、夏目章、杉山五郎、寺崎一郎、椋本正美、大石睦治、山内静也、山下東平、犬塚義一、日下部恒夫、葛西忠彦 顧問池田精作、宇田寛、石津伊太郎				
		7月22日笠井往還はアスファルト舗装になった。 1月10日達磨市の地球オートバイ曲芸田村女史が最後となった。				
昭和 28	1953 政諾社			池田竜之助 65		竹山栄司
		政諾社年番 年番長・高林駒吉 32、鈴木敬哉、内藤菊雄、石牧宏悦 倭魂社年番・池田譲 32。精華團年番・大軒龍雄				
昭和 29	1954 笠勢司			池田竜之助 66		竹山栄司
昭和 29 若連		政諾社統監・袴田賢三 社長・初村佐一 28、石野芳夫、加茂章一、久島實 28、松島重雄、山下正吉				
昭和 30	1955 倭魂社			池田竜之助 67		竹山栄司
		6月28日登記、氏子惣交代。				
昭和 30 若連	若連	政諾社社長・石牧宏悦				
昭和 31	1956 政諾社	小倉茂 71		田地川佐太郎		
昭和 31 若連		政諾社社長・伊藤孝一郎。お囃子最後（犬塚義明 30、松本芳郎 29、池川英雄 23、石野隆、池田米治				
昭和 32	1957 笠勢司					
昭和 32 若連		政諾社社長・犬塚義明 31 田辺保一、小笠原義明				
昭和 33	1958 倭魂社					
昭和 33 若連		政諾社社長・松本芳郎 精華團は福来寺に屋台小屋うい建造した。 蛇籠大鳥居廃止。笠勢司はお囃子中止。				
昭和 34	1959 政諾社				島田良太郎 5 3歳	

年番		政諾社年番長・初村佐一 33、副・石野芳夫、高林嘉平 32、田村慎一 30、鈴木敬哉、内藤菊雄、乗馬犬塚義明 33、石牧宏悦 33				
昭和 34 若連	政諾社	政諾社統監・松本芳郎 社長・久島善治 28、副・池田幸雄、小栗正茂、池川英雄、鈴木繁弘、松村達己、金田旭、田辺一夫、金田富士雄、高柳長良、菅沼利夫、杉村哲司、中津川志郎、馬塚義治、鈴木眞爾、榎吉正幸、寺田久夫、袴田修、磯部隆治、鈴木憲、石牧輝夫、伊藤欽授、鈴木修二、小栗寛、鈴木新二、山下正通				
	倭魂社	統監・門奈剛一 社長・中村哲夫、副・山本隆一、竹内三郎、小栗一雄、鳥羽山鉄雄、鈴木豊二、市川幸雄、鈴木健二、寺田隆夫、小倉亮、秋山光雄、渡辺宏、名倉進、山下実、池谷勝、渥美祐一、内田実、堀内晃、青島守晴、武田俊雄、大村辰雄、				
	精華團	統監・桑原勝 社長・永田徳司、副・坂田庄司、高橋一夫、中村永治、中野和夫、伊藤高男、守屋隆、寺田政太郎、山下清、竹原明、砂子力、山下周衛、高林慶吉、馬淵匡司、大村金光、斎藤岩男、渡辺玉男、国本利夫、鳥羽山隆、中村茂雄、中川巳一、国井俊彦、田辺勘七、村木謙次				
	笠勢司	統監・波多野嘉信 社長・小粥英滋、副・大西実、金田吉夫、金田隆宗、石川幸夫、竹内正治、内山敬、川合啓資、鈴木重男、山下庄市、高林宏、池田眞澄、袴田浩司、鎌田徹文、山田政伸、河合静夫、高林正喜、鈴木眞司、小栗春雄、菅沼孝友、波多野彰彦				
	神勢団	統監・旭加一 社長・坂田正憲、副・松本由夫、岡本峯吉、鈴木昭五郎、竹原三郎、鈴木七郎、鈴木幸雄、足立孝、山崎雄策、伊藤卓、藤田陽一、平野幸雄、清水道雄、中村清、竹内明男、中野誠一、富田明、寺田久、袴田義晴、鈴木静男、森下謙二、鈴木基司、石井康一、山田清二				
昭和 35	1960 笠勢司					
昭和 35 若連	政諾社	社長・伊藤幸雄、名倉善治、神谷良一、小栗正成				
昭和 36	1961 倭魂社					
昭和 36 若連	政諾社	統監・池川英雄、 社長・岩本英一、門奈道夫、榎吉英司				
昭和 37	1962					

	政諾社						
昭和 37 若連	政諾社	社長・鈴木繁弘 28、中津川志郎、馬塚義治、田辺一夫、池川英雄、高井輝浩、榎吉正幸、池田朝男					
	年番	池田米治、木村徳衛、川合正二郎、松下吉雄、松本芳郎、石野隆					
昭和 38	1963 笠勢司	日下部孝造 51					
昭和 38 若連	政諾社	社長・馬塚義治。お囃子は全町廃止した。神輿の馬廃止（昨年最後の乗馬は門奈剛一。桑原勝）					
昭和 39	1964 倭魂社	日下部孝造 52					
昭和 39 若連	政諾社	社長・鈴木健（池田欽哉、高柳長良）					
		東京オリンピック開催 新幹線開通。福来寺児童公園。金達磨 2000 円寄付進呈					
昭和 40	1965 政諾社	日下部孝造 53					
	年番	小栗孝一、榎吉英司、名倉善治、神谷良一、高井照浩、池川英雄					
昭和 40 若連	政諾社	社長・松田誠一郎、					
昭和 41	1966 笠勢司	日下部孝造 54					
昭和 41 若連	政諾社	社長・鈴木憲					
昭和 42	1967 倭魂社	日下部孝造 55					
昭和 42 若連		政諾社社長・山下正通 29、山下成吾、波多野孝一、榎吉清光、					
昭和 43	1968 政諾社	日下部孝造 56					
	年番	年番長・中津川志郎、田辺一夫、菅沼利夫、高柳長良、長谷国弘、青和会が誕生した会長竹内正治					

昭和 43 若連		政諾社社長・島田英夫 川上哲時、大石健一郎、					
昭和 44	1969 笠勢司	日下部孝造 57					
昭和 43 若連	政諾社	統監・大石健一郎 社長・堀内朝男、鈴木良一、辻村功					
昭和 45	1970 倭魂社	日下部孝造 58					
昭和 43 若連		政諾社社長・西岡忠緒 29、榎吉平之助、袴田清麿、高林繁樹、小杉一夫					
昭和 46	1971 政諾社	日下部孝造 59					
	年番	年番長・松田誠一郎 35、鈴木憲 34、小栗寛 34、鈴木修二、鈴木新二、伊藤欽授					
昭和 46 若連	政諾社	政諾社統監・小栗秀一 29 社長・笠原雅宏 29					
昭和 47	1972 笠勢司	日下部孝造 60					
昭和 47 若連		統監・金田大八 社長・町田宗夫、佐藤順一、鳥井正明、佐藤昭夫、鈴木辰美					
昭和 48	1973 倭魂社	池田讓 52		高林駒吉 52			
昭和 48 若連	政諾社	統監・町田宗夫 社長・鈴木辰美					
昭和 49	1974 政諾社	池田讓 53		高林駒吉 53			
	年番	年番長・山下正吾 37、山下正通 36、島田英夫、大石健一郎、波多野孝一、川上哲時 35					
昭和 49 若連	政諾社	統監・鈴木辰美 社長・大野雄一					

昭和 50	1975 笠勢司	池田讓 54		高林駒吉 54			
昭和 50 若連	笠勢司  倭魂社  精華團  政諾社  神勢團	<p>統監・河合章 社長・寺田博義、副・黒川勉、斎藤行雄、磯部順治、小栗和夫、村木徳男、鈴木春茂、山下清、中野敏男、坂田茂、立花恒男、袴田一郎、小倉康次、岡本茂美、内山孝、大木克美、鎌田好勝、鈴木瑞穂、鈴木万里男、内山康夫、河合朗、顧問池川文男、寺田昌弘、長谷川義和</p> <p>統監・寺田儀一 社長・川島清輔、副・平井政治、森下政洋、高柳清、米山守夫、秋山茂、宇田和義、中安茂夫。森重修二、大島昭二、田中清、加藤泰雄、長谷川一夫、源馬修一、小野力、中村道孝、鳥羽山悟、高橋和雄、顧問 池田吉仁、坪井昴一、笠原祥一</p> <p>統監・加藤厚 社長・照井清一、副・西原光雄、竹本克己、渥美正二、高津誠、桑原考。吉田聡、大村一夫、市川衛、鈴木啓二、村田直庸、神谷考二、田地川正己、須貝恵、深谷正行、池田照光、顧問・平川昇一</p> <p>統監・井口勝明 社長・磯貝正明、副・松島勇一、大木清一、古木齊、小倉恒雄、池島保、高林幸夫、池島宗五、渥美茂、中村正義、秋山久武、葛西光彦、小杉孝行、加藤俊行、田辺茂美、小栗樹雄、田辺胃次、石野文明、伊藤伊三郎、袴田正美、鈴木敬三、島田敬一、山下泰史、鈴木吉広、杉本四郎、 顧問・大野裕</p> <p>統監・柳林忠男、 社長・小栗文博、副・佐野喬茂、足立康一、河合利尚、鈴木明吉、神谷文博、池田和行、山下春雄、鈴木政美、鈴木邦太郎、高村正良 顧問・山田俊志、高井賢治、杉本靖男、伊藤慈楨、小倉充員、鈴木広、竹内重保、大村信雄、大橋孝幸、鈴木勲、原信雄、松下吉秀、竹内正広、市川太加夫、鈴木利幸、沢田詳右、鈴木良治、坂田明世、鈴木利和、大石五郎、鈴木克己、小田吉三、鈴木政春、若林秀幸、丹羽仁志、山下修、塚本和芳、鈴木秀次、増井俊夫、鈴木茂靖、白井孝己、</p>					
		神勢団は屋台小屋を新築した					
昭和 51	1976 倭魂社	池田讓 55		高林駒吉 55			
	年番	年番長・坂田徳治 37、白井、川島庸夫 35、田中清夫、小倉省一、高津昭司、奥島喜平、鈴木清、村木和見、( ) 島田英夫、大石健一郎、池田充義、袴田清麿、宮司・石神清					
昭和 51	政諾社	政諾社統監・磯貝正明					

若連		社長・大木清一、堀内俊明、大木清一、小倉恒雄					16日雨、17日雨	
昭和 52	1977 政諾社	池田讓 56	中川巳一	古木勇 68		加藤一郎		
	年番	年番長・池田充義 37、袴田清鷲、榎吉平之助、西岡忠緒、小杉一夫、高林繁樹、奥島喜平、鈴木清、鈴木昭男、伊藤伊佐夫、高津昭司、田中清夫、( ) ( )						
昭和 52 若連	政諾社	社長・中村正義 30、副・高林幸夫						
		架設電話設置。 花火広告を冊子を止めて、チラシ裏表を2枚にした。約20万円を目標に集金した。 白丁を頼むのに苦労した。年番同志、接待やお茶出しを協力し合うように、依頼して賛同を得た。 年番長が多忙すぎる為 倭魂社は屋台新築計画あり						
昭和 53	1978 笠勢司	池田讓 57	中川巳一	古木勇 69		加藤一郎		
昭和 53 若連	倭魂社  精華團  政諾社  笠勢司  神勢団	統監・加藤春夫、 社長・田中清、副・山下昭夫、高橋和男、中村道孝、井上修平、小野力、松島和之、源馬修一、米山守夫、川島清輔、宇田和彦、高柳清、長谷川一夫、鈴木孝、高林英俊、坪井義雄、秋山茂、森下政洋、平井政治 統監・渥美正二 社長・大村一夫、副・桑原孝、吉田聡、川島直之、深谷正行、加藤修、池田照光、沢木優、松島明彦、磯部明人、中安孝一、神谷孝二、田地川和幸、大軒茂之、小林孝之、大村覚男、大村慎司、竹内勲、福代善彦、顧問・竹本克己、照井清一、堀内聡 統監・北島宗吾 社長・小栗樹雄、副・加藤俊光、内藤雅義、田辺茂美、相沢徹、石野文昭、伊藤伊三郎、鈴木利久、高林昭男、伊藤茂文、中谷勝、松本是之、秋山文彦、顧問・中村正義、高林幸夫、杉本四郎、島田敬三、袴田正美、山下泰史、 統監・村木徳男 社長・小栗和夫、副・鈴木春茂、山下清、袴田一郎、内山孝、岡本茂美、坂田茂、小栗勘治、小倉康次、大井克美、内山康雄、鈴木茂、鈴木善晴、武内巖、伊藤卓二、 顧問中野敏男、磯部淳治、 統監・鈴木邦太郎 社長・竹内重保、副・高林正良、鈴木広、鈴木政晴、鈴木勲、大橋孝幸、小田吉三、松下吉秀、山下修、大村幸夫、原信雄、足立均、沢田洋右、鈴木秀次、飯田明世、丹羽仁志、坪山龍也、若林秀幸、鈴木利和、竹内正広、鈴木克己、島田淳、鈴木松一、鈴木正美、石神幹夫、鈴木博、山崎克己、顧問・池田和行、神谷文博、鈴木政美、鈴木利幸、						

		山下春雄、増井俊夫					
		倭魂社屋台新築した。一層唐破風檜造り 村木和見さんは神輿の供を40年継続中					
昭和 54	1979 倭魂社	池田譲 58					
昭和 54 若連	政諾社	統監・小栗樹雄 社長・小杉孝行					
昭和 55	1980 政諾社	池田譲 59					
	年番	年番長・笠原雅弘、町田宗男、鳥井正明、小栗秀一、佐藤順一、佐藤昭夫					
昭和 55 若連	政諾社	統監・小杉孝行 社長・田辺茂美					
		春日社屋台新築した。町内の手造り。					
昭和 56	1981 笠勢司	池田譲 60					
昭和 56 若連	政諾社	統監・田辺茂美 社長・相沢徹					
昭和 57	1982 倭魂社	池田譲 61					
昭和 57 若連	倭魂社  精華團  政諾社  笠勢司	統監・高橋和夫 社長・小野力、副・源馬修一、源馬正彦、渡辺利光、島田孝幸、高村恒司、石津正、高林英俊、平井政治、加藤春夫、森下政洋、前川晴彦、河合成俊、今井重徳、田辺好志、夏目康博、吉田勲、鳥羽山豊、小嶋直之、池谷勝広 顧問・中村道孝、長谷川一夫、井上修平、川島清輔、田中清、秋山茂 統監・神谷孝二 社長・加藤修、副・相場利光、池田昭光、大村覚男、大村慎司、川島直之、小林孝之、国井一伸、桑原利昭、川島成之、福代善彦、鈴木正弘、大相廣幸、顧問・桑原孝、大村一夫、沢木優 統監・伊藤伊三郎 社長・相沢徹、副・松本是之、伊藤嘉員、池島武彦、安藤寛、鈴木一正、山下智之、袴田正志、中谷勝、山下敏彦、池田定明、栗田初雄、寺田道行、藤田孝明、松島年穂、杉山睦夫、山下浩之、小栗実、松本智明、右島浩之、小栗治彦、田地川浩之、堀内昭次、池川知博、伊藤英立、顧問・加藤俊光、小栗樹雄、田辺茂美、内藤雅儀 統監・内山孝					

	神勢団	<p>社長・袴田一郎、副・小倉康次、竹内晴彦、大井克美、内山康雄、武内巖、鈴木善晴、伊藤卓二、永井哲雄、山下昌彦、岡本修、岡本克美、鈴木正俊、鈴木隆仁、顧問・鈴木晴彦、中野敏男、村木徳男、小栗和夫、山下清</p> <p>統監・若林秀幸</p> <p>社長・松下吉秀、副・原信夫、鈴木利和、鈴木松一、鈴木博、竹内正広、足立均、山下修、鈴木清七、鈴木正己、鈴木克己、竹内弘之、清水孝司、嶋田淳、大塚康広、坂田充弘、藤田義博、鈴木昌之、顧問・小田吉三、高林正良、鈴木広、鈴木政春、大橋孝幸、大村幸夫、鈴木勲</p>				
		<p>政諾社屋台の新築の件で相沢徹君と松本是之君が池田充義を訪問して相談に来た。影山自治会長に趣旨を説明して福来寺で中町の住民説明会を開いた。全員賛成で決定。その場で、役員を選出した。建設委員長・影山國一、事業部長・犬塚義明、松本芳郎、榎吉正幸、島田圭司。財務部長・松田誠一郎、小栗寛、波多野孝一、門奈道夫、総務部長・池田充義、中津川志郎、石野隆、榎吉平之助。顧問・初村佐一、鈴木憲。</p>				
昭和 58	1983 政諾社	池田讓 62				
	年番	年番長・秋山久武、小倉恒雄、磯貝正明、袴田正美、松島勇一、大木清一				
昭和 58 若連		<p>統監・相沢徹、 社長・袴田正志</p> <p>政諾社屋台新築完成。小池工務店・小池清。彫刻・鈴木嘉一</p>				
昭和 59	1984 笠勢司	池田讓 63		高林駒吉 63		
昭和 59 若連	政諾社	<p>統監・袴田正志 社長・安藤寛</p> <p>春日神社本殿を新築した。柱と彫刻は明治 32 年のものを使用した。</p>				
昭和 60	1985 倭魂社	池田讓 64		高林駒吉 64		
昭和 60 若連		<p>政諾社統監・安藤寛 社長・中谷勝</p>				
昭和 61	1986 政諾社	池田讓 65		高林駒吉 65		
	年番	年番長・古木斉、山下泰志、相沢徹、田辺茂美、内藤雅義、				
昭和 61 若連	政諾社	<p>統監・中谷勝 社長・松本是之</p>				

昭和 62	1987 笠勢司	池田譲 66		高林駒吉 66		鈴木康平 58	
昭和 62 若連	政諾社	統監・松本是之 社長・伊藤義員					
		4月天満宮百年祭 寄付者 39人、362,000円 燈籠と幟を新調した。					
昭和 63	1988 倭魂社	池田譲 67		高林駒吉 67		鈴木康平 59	
	年番	田辺茂美、高林修、古木斉、山下泰志、内藤雅美、					
昭和 63 若連	政諾社	統監・伊藤義員 社長・池田定明					
昭和 64	1989 政諾社						
		1月7日 今上天皇 崩御					
平成 1	1989	池田譲 68		高林駒吉 68		鈴木康平 60	
	年番	年番長・高林修、副・加藤修、安藤寛、兼岡静雄、長谷川正吉、中村幹夫					
平成 1 若連	政諾社	統監・池田定明 社長・松島年穂、副・寺田道之、栗田初雄、小栗実、松本智明、門奈浩之、伊藤吉行、右島浩之、田地川浩之、杉山睦実、杉山英之、池田啓司、鈴木福二、井本浩之、菅沼信夫、犬塚俊雄、名倉孝之、伊藤充利、国本和裕、池田敦司、伊藤英立、堀内元、長田和彦、馬淵晴美、顧問・安藤寛、中村幹夫、松本是之、中谷勝、伊藤嘉員、藤井一三、袴田博之					
平成 2	1990 笠勢司	池田譲 69		高林駒吉 69			
	年番	年番長・袴田一郎					
平成 2 若連	政諾社	統監・松島年穂 社長・栗田初男					
		神勢団屋台新築完成。小池工務店・小池清 彫刻・早瀬宏 白丁を人材派遣に頼む。中町休憩所で神輿が傾き、年番で協議、氏子惣代の同意を得て、 来年からは輿車で稚児行列で実施するように決まった。					
平成 3	1991 倭魂社	池田譲 70		高林駒吉 70			

	年番	年番長・小野力						
平成3 若連	政諾社	<p>統監・栗田初男          社長・寺田道之、副・小栗実、杉山睦実、川上高男、鈴木福二、松本智明、伊藤吉行、右島浩之、田地川浩之、池田啓司、井本浩之、菅沼信夫、名倉孝之、伊藤充利、国本和裕、伊藤英立、長田和彦、馬淵晴美、池沼光宏、森下素行、清水孝、滝和紀、川上浩市、氏原一平、市原巖、山本徹也、顧問・松本是之、中谷勝、伊藤嘉員、藤井一三、袴田博之、池田定明、松島年穂、</p> <p>春日神社に人を集める方法を年番が考え、ガラポン景品、投げ持ちを実施。          最終日は、お宮に屋台が集合して、激練りを行い、年番長の挨拶で終了。          第1回稚児行列で神輿を曳いた。          西魁団屋台新築完成。 寺田建築。彫刻・志村孝士 祭典日変更 8月14日(金)・15日(土)・16日(日)</p>						
平成4	1992 政諾社	池田譲 71	中川巳一	高林駒吉 71	久島實 66	金田吉雄 60	鈴木康平 64	木村徳衛 62
	年番	年番長・松本是之、池田定明、伊藤孝之、中谷勝						
平成4 若連	政諾社	<p>統監・寺田道之          社長・小栗実、副・杉山睦実、田地川浩之、松本智明、川上浩市、池田敦司、門奈浩之、川上高男、鈴木福二、伊藤吉行、井本浩之、菅沼信夫、長田和彦、顧問・松島年穂、栗田初雄</p> <p>祭典日変更 盆休みの8月14日、15日、16日に決定した。 曜日は毎年変更ある。          暴走族が笠井の祭りに集結して、遠鉄ストア一付近で乱闘あり。 祭典本部は、おびや駐車場を提供した。</p>						
平成5	1993 笠勢司	池田譲 72	中川巳一	高林駒吉 72	久島實 67	金田吉雄 61	鈴木康平 65	木村徳衛 63
	年番	年番長						
平成5 若連	政諾社	<p>統監・小栗実          社長・杉山睦美</p> <p>笠勢司屋台新築完成。 (有)安間工務店 旧屋台は渡瀬町へ売った</p>						
平成6	1994 倭魂社	池田譲 73	中川巳一	高林駒吉 73	久島實 68	金田吉雄 62	鈴木康平 66	木村徳衛 64
	年番	年番長						
平成6 若連	政諾社	<p>統監・杉山睦美          社長・右島浩之、</p>						

		神輿の供（袴、袴、烏帽子、白足袋、家紋入り提灯、）正装で池田充義参加。 山下吉十 22 年目、村木和巳 17 年目、石神勲、伊藤伊佐夫、鈴木与士夫						
平成 7	1995 政諾社	池田譲 74	中川巳一	久島實 69	柴山寅義	金田吉夫 63	鈴木政治	木村徳衛 65
	年番	年番長・栗田初雄、小栗実、松島年穂、寺田道之、三室正義、袴田成俊、						
平成 7 若連	政諾社	統監・右島浩之 社長・松本智明、						
		中町屋台小屋新築 松本智明社長から池田充義が相談を受けた、初村さんと相談して、自治会長の旨を伝えた。 入札の結果大木工務店に決まった						
平成 8	1996 笠勢司	池田譲 75	中川巳一	久島實 70	柴山寅義	金田吉夫 64	鈴木政治	木村徳衛 66
	年番	年番長・						
平成 8 若連	政諾社	統監・松本智明 社長・門奈浩之、						
		神輿解体（春日神社 明治 15 年 5 月 10 日 棟梁 加藤文二郎 と記入あり						
平成 9	1997 倭魂社	池田譲 76	中川巳一	久島實 71	柴山寅義	金田吉夫 65	鈴木政治	木村徳衛 67
	年番	年番長・						
平成 9 若連	政諾社	統監・門奈浩之 社長・伊藤吉行						
平成 10	1998 政諾社	池田譲 77	中川巳一	久島實 72	柴山寅義	金田吉夫 66	鈴木政治	木村徳衛 68
	年番	年番長・杉山睦美、石野昭彦、松田和敏、滝欣也、高木英俊、袴田						
平成 10 若連	政諾社	統監・伊藤吉行 社長・田地川浩之						
		稚児資格を取り決めた。（年番稚児担当・富田年一）稚児ポスターを作製して広く知らせた。						
平成 11	1999 笠勢司	池田譲 78	中川巳一	久島實 73	柴山寅義	金田吉夫 67	名倉長市	木村徳衛 69
	年番	年番長・岡本克美、富田年一、鈴木（油屋）、加藤伸治、青柳孝、長谷川敏明、大村孝寿、前川晴彦、桑原利昭、高橋章、 今井重徳、湯口伸吾、増田晃久、犬塚勉志、松下智之、石野明彦、松田和敏、高木英俊、鈴木正俊、川合真一						

平成 11 若連	政諾社	統監・田地川浩之 社長・堀内元						
		平成の大合併（浜北市、引佐町、三ヶ日町、雄踏町、天竜市、佐久間町、水窪町、龍川村、春野町）						
平成 12	2000 倭魂社	池田讓 79	中川巳一	久島實 74	柴山寅義	金田吉夫 68	名倉長市	木村徳衛 70
	年番	年番長・今井重徳、副・高橋章、前川晴彦、田辺好志、山下浩之、増田晃久、犬塚勉志、鈴木健志、中町・石野昭彦、高木英俊、山下智之、鈴木章好、本町・加藤伸司、鈴木正俊、長谷川敏明、斎藤元彦、坂田充弘、						
平成 12 若連	政諾社	統監・堀内元 社長・山下明伸						
		春日神社の樹木を伐採した。道路拡張の為 春日神社の祭典のすべてを撮影した。山下智之担当。ぴんぼけ倶楽部						
平成 13	2001 政諾社	池田讓 80	中川巳一	久島實 75	柴山寅義	金田吉夫 69	名倉長市	木村徳衛 71
	年番	年番長・山下智之、						
平成 13 若連	政諾社	統監・山下明伸 社長・武田征巳						
平成 14	2002 笠勢司	池田讓 81	中川巳一	久島實 76	柴山寅義	金田吉夫 70	名倉長市	木村徳衛 72
	年番	年番長・羽鳥屋						
平成 14 若連	笠勢司 政諾社	統監・武田征巳 社長・菅沼貴久						
	社務所 建設 委員	会長・池田讓、副・久島實、会計・金田吉雄、管理部長・名倉長市、副・山下智之、監査・木村徳衛、委員・鳥羽山立、門奈道夫、長谷川幸次、中野誠一、高林七郎、鈴木武次、鈴木政治、竹内鉄雄、若林利夫、鈴木広、鈴木基司。 竹下一級建築事務所、伊藤建築・伊藤三喜男						
平成 15	2003 倭魂社	池田讓 83	鳥羽山立	久島實 77	門奈道夫 71	金田吉夫 71	名倉長市	木村徳衛 73
	年番	年番長・小島						
平成 15 若連	政諾社	統監・菅沼貴久 社長・滝 和紀						

		社務所新築工事（3月12日～7月31日）完成 参考資料、詳細記事は山下智之さんが持っている。						
平成 16	2004 政諾社	池田譲 84	鳥羽山立	小栗寛 67	門奈道夫 72	金田吉夫 72	名倉長市	木村徳衛 74
	年番	年番長・池田大、菅沼貴久、伊藤吉行、堀内元、井伊明、岩田芳弘、武田征巳、山下明伸、						
平成 16	政諾社	統監・滝 和紀						
若連		社長・榎吉信博						
		祭典本部は伊藤伊佐夫駐車場に変更した。祭典ポスターに広告をつけた。						
平成 17	2005 笠勢司	池田譲 85	小野鈔 69	小栗寛 68	門奈道夫 73	金田吉夫 73	名倉長市	森下進一 66
	年番	年番長・高林卓司						
平成 17	政諾社	統監・榎吉信博						
若連		社長・川上浩一						
平成 18	2006 倭魂社	山崎純三 70	小野鈔 70	小栗寛 69	門奈道夫 74	池田真澄 71	名倉長市	小野隆一
	年番	年番長・市川徹						
平成 18	政諾社	統監・川上浩一						
若連		社長・池川宏澄						
		春日神社石垣工事開始する。松尾石材、2年間かかる。						
平成 19	2007 政諾社	山崎純三 71	小野鈔 71	小栗寛 70	門奈道夫 75	池田真澄 72	名倉長市	小野隆一
	年番	年番長・池田正樹						
平成 19	政諾社	統監・池川宏澄						
若連		社長・佐藤佳史						
		浜松市政令指定都市となる						
平成 20	2008 笠勢司	山崎純三 72	小野鈔 72	小栗寛 71	門奈道夫 76	池田真澄 73	岩崎秀夫	小野隆一
	年番	年番長・菅沼紳一郎						
平成 20	政諾社	統監・佐藤佳史						
若連		社長・遠藤一重						

平成 21	2009 倭魂社	山崎純三 73	高津昭司 68	小栗寛 72	高柳多一 73	石神勲 68	岩崎秀夫	川合三男
	年番	年番長・渡辺桂						
平成 21 若連	政諾社	統監・遠藤一重 社長・大木 剛						
平成 22	2010 政諾社	坂田徳治 71	高津昭司 69	小栗寛 73	神谷良一	石神勲 69	岩崎秀夫	川合三男
	年番	年番長・朝倉登志雄、國井均、飯塚和夫、村木規利、榎吉信博、藤森正美、袴田光義						
平成 22 若連	政諾社	統監・大木 剛 社長・川本博之						
平成 23	2011 笠勢司	坂田徳治 72	高津昭司 70	小栗寛 74	神谷良一	石神勲 70	飯田初男 70	川合三男
	年番	年番長・						
平成 23 若連	政諾社	統監・川本博之 社長・佐藤晃史						
		3月 東北大震災 浜松祭り中止						
平成 24	2012 倭魂社	坂田徳治 73	小倉省一 72	小栗寛 75	神谷良一	伊藤伊佐夫 71	飯田初男 71	河合眞司
	年番	年番長・前川恭輝、島田勝利、西村嘉晃、副・是永剛、鈴木心、小池晃、新村範和、池野孝生、榎吉信博、田邊一巳、長森基樹、青木誠、鈴木勝、村木雅人、中津川良春、鈴木大介						
平成 24 若連		統監・川嶋龍、精) 近藤英晴、政) 佐藤晃史、笠) 磯貝隆行、神) 田邊俊勝 社長・松島寛信、精) 袴田和之、政) 池田大、笠) 中野公博、神) 大橋達弥						
		笠井まつり第1回パンフレット作成。 協賛・東寿司、お茶松本、おびや、川合うなぎ店、あかつき、川島養蜂園、五味八珍、ココ一番屋、こまつ屋、たけだ魚屋、北浜屋、肉坂田、すし秀、達摩餃子、田中酒店、ひまわり、マルス青果、今泉時計店、小田クリーニング、寺田米穀店、ノーブル島、松風屋、松田屋、クレアシオン、ソフトバンク笠井、高橋畳、池田提灯、西村時計店、前川サイクル、みそのや、みちる、代行アポロ、大屋提灯、理容はせがわ、美容スワン、鈴木屋根工事、秋山治療院、大須賀医院、かねた耳鼻科、いけとも、石橋写真館、スズショウ、袴田石油、遠州金庫笠井、JAとぴあ笠井、加藤製作所、浜松第一自動車、みずの加工、波多野電機、文泉堂、松屋寝具、伊藤商店、村木新聞店、ヤマハ音楽教室、						

		静銀笠井、はましん笠井、笠井商店会、やぎはし宝くじ、リブロス笠井、井口カットサロン、美容光花、JOY理容、前川整経、シズター美容、大木工務店、マツシタ薬局、市川鉄工所、インテック、国本工業、浜松資材、丸保、浜松オリエント自動車、セブンイレブン笠井・飯田店、エアイトバイカーズファクトリー、アドビジョン銀座 SUZUKI (80店)						
平成 25	2013 政諾社	川嶋庸夫 72	小倉省一 73	小栗寛 76	波多野孝一 74	伊藤伊佐夫 72	飯田初男 72	河合眞司
	年番	年番長・池野孝生、副・田辺一己、榎吉信博、長森基樹、西山徹、小池直也、中直雅章、鈴木勝、加藤智大、鈴木大介、中津川良春、新村範和						
平成 25 若連		統監・池田大 (倭) 松島寛信 (精) 袴田和之 (笠) 中野公博 (神) 大橋達弥 (西) 大平真也 (春) 石津勝教 社長・秋山英正 (倭) 水野健太郎 (精) 池田正孝 (笠) 岡本純 (神) 高村勇次 (西) 関口秀昭 (春) 太田明彦						
平成 26	2014 笠勢司	川嶋庸夫 73	小倉省一 74	小栗寛 77	波多野孝一 75	伊藤伊佐夫 73	島田順一	河合眞司
	年番	年番長・中野雅章 副・加藤智大 鈴木勝、佐藤淳、山崎史佳、小栗繁太郎、西村嘉晃、川嶋龍、門奈孝之、砂子均、関口進、山下隆彦、関口隆彦、小池直也、西山徹、岩品好和、平川知行						
平成 26 若連		統監・名倉邦典 (西) 鈴木秀人 (神) 高村勇次 (倭) 水野健太郎 (政) 秋山英正 (春) 太田明彦 (精) 池田正孝 理事長・岡本純 (西) 園川和之 (神) 大橋弘嗣 (倭) 森下泰之 (政) 小林伸行 (春) 又平誠 (精) 林 友行						
平成 27	2015 倭魂社	川嶋庸夫 74	小倉省一 75	小栗寛 78	波多野孝一 76	加藤有是 69	島田順一	長谷川義和
	年番	年番長・河嶋龍、門奈孝之、松島寛信、関口進、鈴木明生、関口秀明、桑原宏充						
平成 27 若連		統監・森下泰行 (精) 林友行 (西) 園川和之 (政) 小林伸行 (笠) 名倉邦典 (神) 大橋弘嗣 (春) 又平雅巳 社長・島田勝利 (精) 山崎弘 (西) 袴田浩介 (政) 鈴木重史 (笠) 名倉邦典 (神) 鈴木健文 (春) 鈴木雅巳						
平成 28	2016 政諾社	井熊勝喜	飯田忠男 65	小栗寛 79	内藤雅義	加藤有是 70	島田順一	長谷川義和
	年番	年番長・牛田浩和、副・岩品好和、平川知行、鈴木真也、鶴田智武、笠原裕二、磯貝隆行、名倉邦典、田辺俊勝、大橋達也 高村勇次、門奈孝之、松島寛信、桑原宏充、寺田基伸、鈴木明生、上田勝志						
平成 28 若連		統監・鈴木重史 (笠) 中野公博 (神) 鈴木健文 (倭) 島田勝利 (精) 山崎弘 (西) 袴田浩介 (春) 鈴木雅巳 社長・内村岳史 (笠) 岡本雄也 (神) 水野由也 (倭) 森下晃次 (精) 石川賢太郎 (西) 小山晃生 (春) 古山博章						
		8月15日 豪雨の為 笠井街道に見物人なし。年番はずぶぬれで神輿を走って御仮屋へ曳いていった。 禰宜 石神好洋 宮司 石神清						
平成 29	2017	井熊勝喜	飯田忠男 66	小栗寛 80	内藤雅義	加藤有是 71	若林秀幸	長谷川義和

	笠勢司							
	年番	年番長・名倉邦典 中野公博、高村勇次、松島寛信、上田勝志、林友行、寺田基伸、竹原裕二、鈴木真也、森下泰行、鈴木秀人、鶴田智武、島田哲也、磯貝隆行、大橋達也、鈴木健文						
		春日神社の古文書をまとめる。編集・池田大。解説・村木千代八、書類編集正書・池田充義						
平成 30	2018 倭魂社	井熊勝喜	飯田忠男 67	小栗寛 81	内藤雅義	寺田博義	若林秀幸	新井太郎
	年番	年番長・森下泰行、市川徹、前川恭、副・精) 林友行、山崎弘 (西)、鈴木秀人、足立昌昭 (政) 川本博之、小林伸行、島田哲也、濱崎克志、笠) 中野公博、青木利雄、春) 鈴木健文、大橋弘嗣、佐藤孝之						
		8月15日雨中止 16日小雨決行 津島神社は、4月回収された						
平成 31	2019 政諾社	1月10日 市神様の神事を福来寺境内にて行う。福餅進呈 2月18日 神輿渡御(無形民俗文化財) 神輿(有形民俗文化財)として、浜松市地域遺産に登録された。						
		令和1年5月1日 年号は令和となった。						
令和 1	2019 総代	松島知之	照井清一 71	小栗寛 82	内藤雅義	寺田博義	若林秀幸	新井太郎
	年番	年番長・川本博之 副・小林伸行、島田哲也、濱崎克志、深澤伸介、堀之内克喜、中野公博、青木利雄、名倉邦典 大橋弘嗣、佐藤孝之、水野由也、西村嘉晃、鳥羽山豊、山崎弘、池田正孝、足立昌昭、大平真也						
	若連	統監・相澤徹也 笠) 岡本雄也 神) 大橋達也 倭) 池田真也 精) 河島直久 西) 中道元則 春) 松本知也 社長・河合明論 笠) 永井慎也 神) 鈴木信吾 倭) 池谷修司 精) 柳林峰房 西) 荻野哲也 春) 藤森孝敏						
令和 2	2020 笠勢司	松島知之	照井清一 72	小栗寛 83	内藤雅義	寺田博義	伊藤茲楨	新井太郎
	年番	年番長・						
		コロナ世界恐慌中に付き、笠井まつり中止 神輿を年番、氏子総代 石神禰宜 裏通りで渡御、還御をおこなった。 稚児行列中止 東京オリンピック延期 浜松祭り中止 甲子園中止 大相撲 野球 サッカー 無観客 世界中の経済が止まった。						
令和 3	2021 倭魂社	松島知之	照井清一 73	小栗寛 84	秋山久武	寺田博義	伊藤茲楨	鈴木晴道
	年番	年番長・						
		神輿を年番、氏子総代 石神禰宜 裏通りで渡御、還御をおこなった。稚児行列中止 12月25日 幟ポール建設 2本一組を3か所 寄付金 1,995,380円と準備金 1,000,000 総支出 2,616,507 残金 378,873						

令和4 政諾社	2022 総代	寺田良蔵		小栗寛 85	秋山久武		伊藤茲楨	鈴木晴道
	年番	年番長・佐藤佳史 池田真吾						
		神輿を年番、氏子総代 石神禰宜 裏通りで渡御、還御をおこなった。稚児行列中止						
令和5 笠勢司	2023 総代	寺田良蔵	磯部開人	小栗寛 86	秋山久武	岡本修	神谷文博	鈴木晴道
	年番	年番長・岡本純 副年番長・鈴木信吾 本町) 松永東、寺田隆之 春日町) 神谷直靖、福地和也 上町) 源馬利弘、池田真吾、渡邊健太郎 住吉町) 柳林峰房、袴田和之 西の山) 齋藤吉明、中道元則 仲町) 秋山吉明、吉田和重、田中知将、長森基樹						
	若連	笠勢司) 統監・鈴木悠介、理事長・名倉秀太 神勢団) 統監・高井慶紀、理事長・高井聡紀 倭魂社) 統監・前川恭輝、社長・山下 陽 精華団) 統監・臼井威織、社長・石川高雄 西魁団) 統監・松島隆一郎、社長・長谷川角弥 政諾社) 統監・池島健太、社長・酒井秀樹						
		コロナは、5月11日 5類に移行。笠井祭り実施。稚児行列実施。浜松祭り実施。 家康行列実施。 WBC 野球世界一。 春日神社宮司石神清逝去。						
令和6 倭魂社	2024 総代	寺田良蔵	磯部開人	松島隆康	小栗寛 87	秋山久武	岡本修	神谷文博
	年番	年番長・源馬利弘 副年番長・柳林峰房 上町) 渡邊健太郎、森下晃次 住吉町) 竹島寛曜 西の山) 中道元則、萩野哲也 仲町) 佐藤晃史、吉田和重、田中知将、内村岳史 本町) 神谷幸佳、寺田隆之 春日町) 福地和也、田邊靖幸、山崎智也						
	若連	倭魂社) 統監・山下 陽、社長・兼岡頼由 精華団) 統監・石川高雄、社長・石川大晃 西魁団) 統監・長谷川角弥、社長・松島謙次 政諾社) 統監・河合明論、社長・池島康輔 笠勢司) 統監・鈴木悠介、理事長・名倉秀太 神勢団) 統監・高井聡紀、理事長・高村勇次						
令和7 政諾社	2025 総代							